

参考

1 用語集

用語	説明
県内生産額	県内に所在する各産業の事業所による生産活動や取引の総額。
中間投入	生産過程で原材料・燃料等の経費として投入された財・サービス。生産設備等の購入費用は資本形成とされ、中間投入には含まれない。
中間需要	生産物のうち原材料などとして各産業に販売した財・サービス。
粗付加価値	生産活動によって新たに生み出された価値。 中間投入に粗付加価値を加えたものが県内生産額となる。 粗付加価値は、「家計外消費支出」、「雇用者所得」、「営業余剰」、「資本減耗引当」、「間接税」及び「(控除) 経常補助金」に細分される。
家計外消費支出	「企業消費」に該当し、「宿泊・日当」、「交際費」、「福利厚生費」によって構成される。
雇用者所得	居住者、非居住者を問わず県内で発生した雇用者の所得であり、「賃金・俸給」、「社会保険料(雇用主負担)」、「その他の給与及び手当」からなる。 個人業主や家族従事者の所得は含まない。
営業余剰	各産業部門の営業利潤、支払利子、使用動産や不動産の順賃貸料等からなり、個人業主や家族従業者の所得を含む。 営業余剰 = 粗付加価値 - [家計外消費支出 + 雇用者所得 + 資本減耗引当 + 純間接税(間接税 - 補助金)]
資本減耗引当	固定資本の価値は生産過程において消耗されていくが、この価値の減耗分を補填するために引当てられた費用で、減価償却費と資本偶発損(火災、風水害、事故などによる不慮の損失)の合計。
間接税	財、サービスの生産、販売、購入、又は使用に関して課せられる租税及び税外負担で、税法上損金算入が認められていて、所得とならず、その負担が最終購入者へ転嫁されることが予定されているものである。 但し、「関税」と「輸入品商品税」は含まれない。
経常補助金	①非市場生産者(一般政府)から市場生産者に対して交付され、 ②市場生産者の経常費用を賄うために交付されるものであり、 ③財・サービスの市場価格を低下させると考えられるもの という3つの条件を満たす経常交付金である。
最終需要	生産された財・サービスのうち、原材料と異なり完成品として消費、投資、移輸出されるもの。 最終的に消費される財やサービスが、家計や企業及び政府機関でどのくらい需要があったかを示す。
消費	「家計外消費支出」、「民間消費支出」、「一般政府消費支出」から構成される。
民間消費支出	家計の支出である「家計消費支出」と、利潤の追求を目的とせず社会的・地域的サービスを家計に提供する団体の消費である「対家計民間非営利団体消費支出」から構成される。

一般政府消費支出	中央政府（国の出先機関）と地方政府（地方公共団体）が提供するサービス（議会、警察、教育等）に関する支出のうち、政府自身が負担した費用。
投資	県内総固定資本形成、在庫純増から構成される。
県内総固定資本形成	1年間に取得した建物、機械、装置等の固定資産と資産の取得に要した仲介手数料等の直接費用。 なお、固定資産は耐用年数1年以上、購入者価格単価10万円以上のものを基本とし、それ未満の財は内生部門に産出される扱いとなる。
在庫純増	1年間における在庫の増減を市場価格で評価したもの。 出荷待ちの製品、加工途中の製品、原材料、流通過程における在庫で構成される。
移輸出	県内から県(国)外に販売された財・サービスのこと。国外需要に対応する物を輸出といい、それ以外のものを移出という。 県(国)外からの旅行者の愛媛県内での消費を含む。
移輸入	県(国)外から県内に販売された財・サービスのこと。国外からのものを輸入といい、それ以外のものを移入という。 県内居住者が県(国)外で消費した分を含む。

2 産業連関分析に用いる係数（算出方法）

係数名	算出式	説明
投入係数	各列部門別の $\frac{\text{原材料等の投入額}}{\text{県内生産額}}$	各列部門において、1単位の生産を行う際に必要とされる原材料等の単位。
特化係数	各部門別の $\frac{\text{県内生産額の構成比}}{\text{全国生産額の構成比}}$	各部門における県内生産額の構成比を全国の構成比と比較することで、県がどの産業に特化しているのかを示す指標。
中間投入率	各列部門別の $\frac{\text{中間投入額}}{\text{県内生産額}}$	各列部門の産業の生産額に占める中間投入額（原材料費）の割合。
粗付加価値率	各列部門別の $\frac{\text{粗付加価値額}}{\text{県内生産額}}$	各列部門の財・サービスの生産に必要な粗付加価値額（労働、資本などの要素費用その他）の割合。
移輸出率	各行部門別の $\frac{\text{移輸出額}}{\text{県内生産額}}$	県内生産額に占める移輸出額の割合。
移輸入率	各行部門別の $\frac{\text{移輸入額}}{\text{県内需要合計額}}$	県内需要額に占める移輸入額の割合。
自給率	(1 - 各行部門別の移輸入率)	県内需要額に対する県内で生産された財やサービスの割合。需要に伴い生産された県内生産物が、どのくらい県内に提供されたかを示す。
影響力係数	$\frac{\text{各部門の逆行列係数表の列和}}{\text{逆行列係数表の列和全体の平均値}}$	列部門のある産業の需要が1単位発生した際に、産業全体に及ぼす生産波及の影響度を表す係数。
感応度係数	$\frac{\text{各部門の逆行列係数表の行和}}{\text{逆行列係数表の行和全体の平均値}}$	各列部門にそれぞれ1単位の最終需要が発生した際に、行部門が相対的に受ける影響度を表す係数。

生産誘発額	県内最終需要部門による生産誘発額： 各部門逆行列係数 ×自給率×各県内最終需要額 移輸出部門による生産誘発額： 各部門別逆行列係数×各移輸出額	最終需要によって誘発された県内生産額。
生産誘発係数	$\frac{\text{最終需要項目別生産誘発額}}{\text{最終需要計}}$	ある最終需要項目が合計で1単位増加した場合に、各最終需要部門によって県内生産額をどれだけ増加させたかを示すもの。
生産誘発依存度	$\frac{\text{最終需要項目別生産誘発額}}{\text{生産誘発額計}}$	各産業部門における最終需要項目別生産誘発額の構成比。各産業部門の生産がどの最終需要項目によって、どれだけ誘発されているかの割合を示す。
粗付加価値誘発額	最終需要項目別生産誘発額 ×粗付加価値率	最終需要によって誘発された粗付加価値額。
粗付加価値誘発係数	$\frac{\text{最終需要項目別粗付加価値誘発額}}{\text{最終需要計}}$	ある最終需要項目が合計で1単位増加した場合に、各最終需要部門によって粗付加価値額をどれだけ増加させたかを示すもの。
粗付加価値誘発依存度	$\frac{\text{最終需要項目別粗付加価値誘発額}}{\text{粗付加価値誘発額計}}$	各産業部門における最終需要項目別粗付加価値誘発額の構成比。各産業部門の粗付加価値が、どの最終需要項目によりどれだけ誘発されたのかの割合を示す。
移輸入誘発額	県内最終需要部門による移輸入誘発額： 移輸入率×投入係数 ×県内最終需要部門による生産誘発額 +移輸入率×県内最終需要額 移輸出部門による移輸入誘発額： 移輸入率×投入係数 ×移輸出部門による生産誘発額	最終需要によって直接・間接に誘発された移輸入額。
移輸入誘発係数	$\frac{\text{最終需要項目別移輸入誘発額}}{\text{最終需要計}}$	ある最終需要項目が合計で1単位増加した場合に、各最終需要部門によって移輸入額をどれだけ増加させたかを示すもの。
移輸入誘発依存度	最終需要項目別の $\frac{\text{移輸入誘発額}}{\text{移輸入誘発額計}}$	各産業部門における最終需要項目別移輸入誘発額の構成比。各産業部門の移輸入がどの最終需要項目により誘発されたのかの割合を示す。

3 県民経済計算との関係

愛媛県の経済状況を知る統計資料として、産業連関表（取引基本表）のほかに愛媛県県民経済計算があるが、それぞれの概念規定の違いから両者を単純に比較することはできない。

県民経済計算では、生産によって新たに発生する付加価値を生産面、分配面、支出面からとらえることに視点を置くのに対し、産業連関表は財・サービスの流れを明らかにするもので、産業相互間及び産業と最終需要との取引関係に視点を置いている。このため、県民経済計算では把握できない産業間での原材料等（中間投入）の取引についても、産業連関表で確認ができるものとなっている。

産業連関表と県民経済計算の主な相違点としては以下の通りである。

	産 業 連 関 表	県 民 経 済 計 算
対 象 期 間	暦 年	会 計 年 度
部 門 分 類	産業活動単位	事 業 所 単 位
作 成 周 期	概ね5年ごと	毎 年 度
家計外消費支出の分類	外生部門（最終需要及び粗付加価値）に計上している	生産活動に必要な経費として中間取引の一部としている

外生部門における項目別の対応関係は以下の表のとおり。

産 業 連 関 表	県 民 経 済 計 算
家計外消費支出	無し（中間投入の一部）
雇用者所得	雇用者報酬
営業余剰	営業余剰・混合所得
資本減耗引当	固定資本減耗
間接税（関税・輸入商品税を除く。）	生産・輸入品に課される税
（控除）経常補助金	（控除）補助金
民間消費支出	民間最終消費支出
一般政府消費支出	政府最終消費支出
県内総固定資本形成	総固定資本形成
在庫純増	在庫変動
移輸出	財貨・サービスの移輸出
（控除）移輸入	（控除）財貨・サービスの移輸入